



# からだのとしょかん通信

## 「リンパ節のお話」「便秘と下剤の使い分け」 2015年1月号

新年最初の号です。今年もよろしくお祈りします。

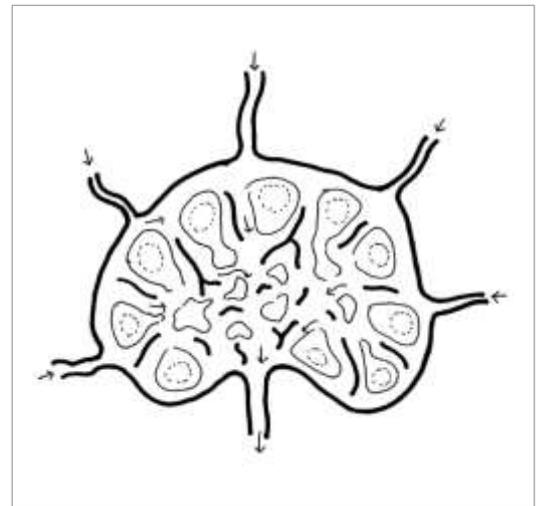
今号は、「リンパ節のお話」と、「便秘と下剤の使い分け」についてお届けします。

「リンパ」については、医師の病気の説明にその名称がでてきたり、病名に「リンパ」が付いているものもあり、混同している場合もあります。今回はリンパ節とはどういうものか、その働きなどについてご紹介します。担当は副院長で病理診断科の本間慶一先生です。

### 1.リンパ節とは

皆さんには手足のつけ根の脇の下やそけい部で米粒大の触れるものがありますか。それはリンパのフィルター装置であるリンパ節です〔図1〕。

細胞や組織の間には毛細血管から滲み出した漿液成分があります。この多く(約80%)は再び静脈系に流入して血液循環に戻りますが、一部(約20%)はリンパ管に入るものがあり、この液性成分をリンパと呼びます。リンパは流れの途中でリンパ節を経由しつつ胸管と呼ばれる太いリンパ管を介して、最終的には首の付け根部分で静脈に合流します。体内の液性成分の流れには、心臓→動脈→毛細血管→静脈→心臓と閉鎖的に循環する血管系と組織間隙に始まり静脈で終わるという一方向の流れのリンパ管系があり、ともに広く全身に分布しています。



図はリンパ節(矢印はリンパの流れ)

リンパ管には血管に比べ比較的大きめな物質が入り易く、細胞活動によって生成される代謝産物やウイルス・細菌などもリンパ管に入り、リンパ節にたどり着きます。

リンパ節には免疫監視機構があって、到達した物質が異物かどうか判断し、異物と認識すると炎症反応(リンパ節炎)でそれを排除しようとしています。皆さんが脇の下やそけい部でリンパ節を触れるのは、手足の先のちょっとしたキズから入ったばい菌などをリンパ節がブロックした戦いの痕跡なのです。

### 2.癌細胞とリンパ節

癌細胞もリンパ管に入りやすく、リンパ節に流入して転移となることがあります。癌細胞が最初に到達するリンパ節をセンチネルリンパ節と言いますが、もしセンチネルリンパ節に癌転移がなければ、それより下流に存在するリンパ節には転移はないと考えられます。この概念を応用して、乳癌などではセンチネルリンパ節に転移がないことを術中迅速診断で確認して、それ以外のリンパ節郭清を省略する手技があります。

しかし、稀にスキップ転移といって、原発巣近くのリンパ節には転移がないのに、より離れたリンパ節に転移をみることがあります。これは癌細胞が癌近くのリンパ節を飛び越してより離れたリンパ節に転移したのではありません。転移は癌を排除する力と癌細胞の増殖能の力関係によって決まりますので、癌細胞は同じようにリンパ節に流れ着いたのに、先に到達したリンパ節では癌細胞が排除できたのに対し、下流のリンパ節では排除しきれずに転移が成立してしまったということになります。

次は、「便秘と下剤の使い分け」について、大滝薬剤科長からのミニレクチャーです。

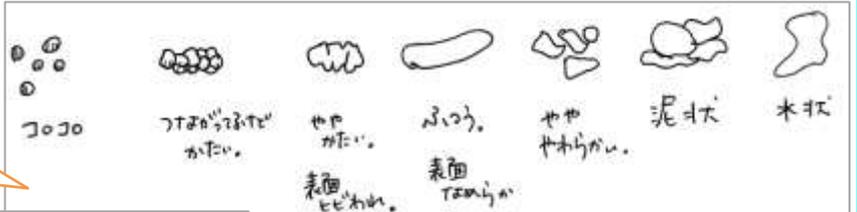
「先生、便秘で困っています」「では下剤を出します、便の状態に合わせて調節して使ってください」  
 こんなふうに下剤を処方されたとき、どのように調節して使い分けたらよいのでしょうか？  
 そこで今回は、便の状態と薬の特徴をざっくりとご紹介します。

そもそも便はなにでできているのでしょうか？

いまどんな便がでていますか？



健康な人のうんちは80%が水分です。



ふつう～やわらかい便が理想です

- 水分たっぷり型  
マグミット  
酸化マグネシウム  
腸内に水分をためる。
- 腸をやわぶり型  
シンラック  
センノサイド  
アローゼン  
腸をゆるませてうんかす。  
(大葉やセンを含む漢方薬)
- 腸あたため型  
大建中湯  
ヒリリとからい成分で腸をあたため重さをよくなる。
- 腸もみもみ型  
ガスモチン  
胃や腸のうんかすよくなる。

よくつかわれる下剤にはどんなものがあるでしょう？

水分たっぷり型

酸化マグネシウム、マグミットなど

腸ゆるさぶり型

シンラック、ラキソバロン、センノサイド  
アローゼンなど

腸あたため型

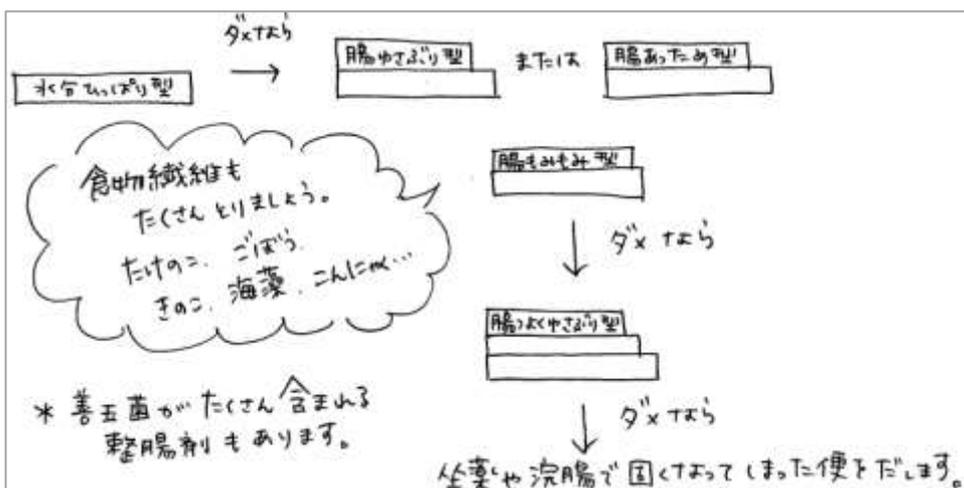
大建中湯（漢方薬）

腸もみもみ型

ガスモチン

\*便秘と下痢を繰り返す場合には、ポリカルボフィルカルシウムなど、便の水分バランスを調整するお薬を使うこともあります。

下剤は、作用の弱いものから順に、積み上げ方式で使用していくとわかりやすいです。



水分たっぷり型をベースとして、働きが違うものを適宜上乗せします。

ふつうの便になったら、その量でキープします。  
 柔らかくなりすぎたら、上乗せしたものを減らします。

善玉菌の多い整腸剤には、ビオスリー、ラックビーなどがあります。

今の便の状態と下剤の特徴を理解しながら、積み木を積み上げたり下げたりして、調節してみてください。お困りの際にはご相談ください。

※手術後の方は、腸閉塞になる可能性もありますので、主治医の先生とよく相談して、食物繊維の取り方に注意しましょう。